

# 尾三消防本部

からのお知らせ



## 令和7年中の火災状況と分析

令和7年中における総出火件数は89件で、令和6年と比較すると7件減少しました。また、残念ながら火災による死者も1名発生していますが、令和6年と比較し負傷者も減少傾向にあることは住宅用火災警報器が普及していることも要因の一つだと考えています。一方で、その他火災(火入れ、野焼き等による火災)にあつては、一向に高い件数を推移しています。人為的な行為が起因とすることが多いことから、裸火の取扱いに対する意識改善が重要となります。

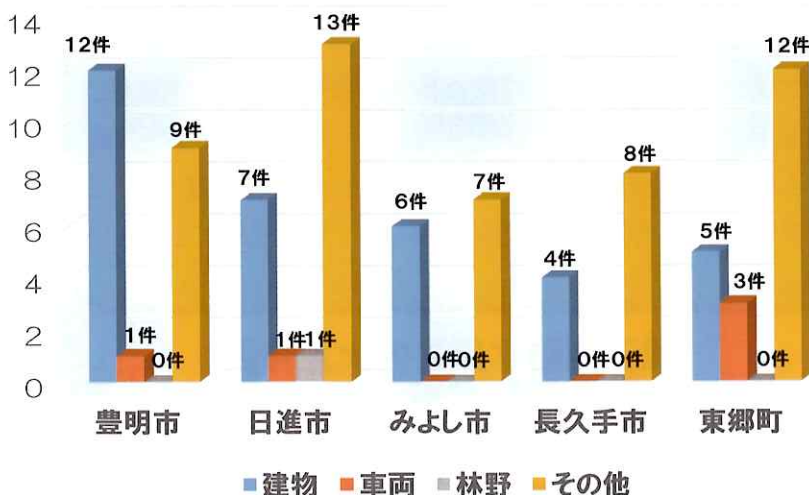
火災件数等比較

	令和7年	令和6年	増減
総出火件数	89件	96件	-7件
建物火災	34件	40件	-6件
うち住宅火災	14件	22件	-8件
林野火災	1件	4件	-3件
車両火災	5件	10件	-5件
その他の火災	49件	42件	+7件
火災による死者	1件	2件	-1件
火災による負傷者	10件	12件	-2件
住宅火災による死者	1件	2件	-1件
うち 65 歳以上	1件	1件	±0件

全火災出火原因別の火災発生状況

出火原因	令和7年	令和6年
たばこ	7件	11件
こんろ	8件	7件
ストーブ	1件	0件
排気管	2件	3件
電気機器	6件	7件
電気装置	2件	1件
電灯・電話等の配線	3件	7件
配線器具	1件	3件
火あそび	2件	1件
マッチ・ライター	0件	0件
たき火	20件	15件
溶接機・切断機	0件	1件
灯火	0件	2件
衝突の火花	0件	1件
火入れ	14件	10件
放火	4件	1件
放火の疑い	5件	6件
その他	10件	16件
不明・調査中	4件	4件
合計	89件	96件

市町別火災種別件数



火入れ、たき火を原因とする火災が大幅に増加しました！







年齢別死傷者数

年齢	死者	負傷者
0~64歳以下	0名	8名
65歳以上	1名	2名

## 住宅用火災警報器の作動状況

令和4年1月1日から令和7年12月31日における建物火災のうち、住宅火災で住宅用火災警報器の設置が必要な事案は71件、全焼が14件、半焼が6件、部分焼が13件、ぼやが38件でした。住宅用火災警報器の設置・作動状況については下表のとおりですが「設置有・作動有」で部分焼、ぼやにとどまった火災は14件あり、住宅用火災警報器の重要性が数値としてわかります。一方、全焼した火災のうち、6件は住宅用火災警報器が設置されておらず、不明を含め12件、半焼まで至らせた火災については、全て住宅用火災警報器が設置されていませんでした。

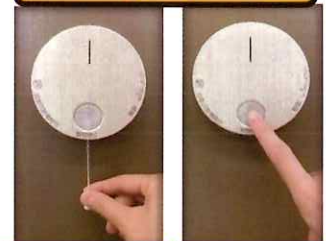
設置有・作動有	2件	設置有・作動有	0件	設置有・作動有	5件	設置有・作動有	11件
設置有・作動無	0件	設置有・作動無	0件	設置有・作動無	0件	設置有・作動無	1件
設置無	6件	設置無	6件	設置無	6件	設置無	13件
不明	6件	不明	0件	不明	2件	不明	13件
 <p>全焼火災14件</p>		 <p>半焼火災6件</p>		 <p>部分焼火災13件</p>		 <p>ぼや火災38件</p>	

10年経ったら交換しましょう



住宅用火災警報器の設置有・作動無をなくすために、月1回を目安に点検し、製造または設置から10年以上経過している場合は機器の交換をしましょう！

### 点検方法



ヒモを引く

ボタンを押す

### たき火・野焼き等による火災が増加傾向

尾三消防本部管内では、令和7年中にたき火や野焼き等による火災が49件で約5割を占めました。

また、令和8年1月1日から林野火災が起こりやすい時期(1月～5月)に、林野火災の予防上「注意」が必要と判断される気象状況になった際や予防上「危険」な気象状況に発令する「林野火災注意報・警報」の運用が開始されました。尾三消防本部管内でも、発令対象区域は限られていますが、野焼き等は乾燥した日や風の強い日に一気に燃え広がる危険があります。そのため、屋外での火の取扱いには十分に注意して、火災を起こさないようにしましょう。

たき火・野焼き等を行う場合は、風が強い日や空気が乾燥している日は、燃やすのを控えましょう！また、速やかに消火できる消火器、水バケツを準備し、火が消えるまでその場を離れないようにしましょう！

### 尾三消防本部管内火災件数

(令和3年1月1日から令和7年12月31日まで)

